



注 意  
本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の寄稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

或る日の問答

迂路津記

臨時議會の話題

- A いや〜ながらとう〜開いたね。
- B 關西の風水害は政府の頬被りにも應へたと見えるね……。何しろ被害の範圍の廣かつたことは、あの關東の大震災以上だといふことだからナ。
- C 一體官僚内閣といふものはそんなものかね。
- A そりやそうさ。自分で自分が恐いからね。
- B 馬脚を顯はずといふことでもあるのかナ。
- A 確固たる自信がないからさ。
- B 官僚内閣に自信がないのではなくて、今の内閣に自信がないのだよ。
- C 今度の議會……といふよりも、寧ろ國策に對する自信さ。
- A いや高橋さんが入つたので、内閣に千鈞の重みがついたといふのではないかね。
- B、C (相見ても)ウフ、ハ、ハ。
- 註に曰く 本臨時議會は十一月二十七日から十二月四日迄一週間召集されたが途中三日間と、更に二日間とが延長せられて結局十二月九日の日曜日に閉會した。
- A 今度の議會は、何といふても災害豫算の議會だから餘り波瀾もなく案外平凡かも知れんナ。
- B 災害豫算が國民の納得の行く様になる具合かね。
- C 金がないから無理をして居るだらうよ。
- A 災害と謂へば結局内務省關係が一番重點だね。
- B 何しろ九年度以降の全貌を見ると、總額二億一千二百二十八萬四千五百十八圓といふ内の半額以上に達する、一億一千六百九十二萬三千四百四十七圓といふも

のが内務省所管で、しかもその大部分が九、十兩年度に計上せられて居るのだから、國民の觀點も自らこれに集注されるだらうよ。

C 議會もよいが、繪に畫いた餅よりも早く工事をするならする。金を落すなら落す。米を呉れるなら米を呉れるで、見透しの付いたことを早くやつてくれりやよいがナ。

A 勿論その點萬事OKさ。

#### 農村對策豫算

A 一體君等は災害豫算と云ふのは、何を云ふのか知つてゐるかね。

B それや災害土木復舊費といふて理論的に説明すれば、府縣市町村が管理して居る公共土木的施設の復舊に要する費用が主眼點じゃが、今度の災害といふものは此の外、旱害、冷害、雹害といふものや、蠶絲價の下落に依る損失等を加味した私生活的に屬する所謂凶作對策をも考へて、之を今度社會通念上

の災害としてゐる様じゃから、之等をも救済する立前が所謂今度の災害豫算といふものだ。

C 有難いね。災害の觀念が、天災から人災迄を含む様になり、それを對照として施設されるといふことは。

A そーするとその主として人的災害に對する内務省の豫算は何といふ費目で要求して居る。

B 臨時部第四十九款農村其他應急土木事業費といふのがそれだよ。

C 全くうまいね。内務省にもなか／＼智恵者が揃つてゐるね。

B それやそーさ。北海道、三府四十三縣のお臺所だから決して君等の様な心細いことではないよ。

A、C ハ……。全くだ。

A そーするとその豫算は全國へ廻るのかね。

B そりや災害といふ事實があれば大小に拘らず廻るに極つてゐるさ。

C そーなると内務省は災害といふことに付て、充分認識してゐるのだらうな。

B 失禮なことを云ふと叱られるぞ。誰が知らんでも丹羽さんは知つてゐるよ。

A 丹羽さんは、枯淡な高僧の様な人だと何かに書いてあつたが、全く偉いからね。

C 其の丹羽さんが病氣じゃといふから取り付く島がないといふ次第さ。

#### 議會の答辯

A 議會で災害豫算Ⅱつまり農村其他應急土木事業費に付て随分質問があつたそうだが、政府はうまく答辯したかね。

B それが可笑しい位に差かんで隠してゐるのだから全く困つたもんだ。此の豫算をどうゆう風に府縣へ配當し、どうゆう風に消化せしめるかと、國民の聽かんとする所を太田正孝君や、齋藤隆夫君といふ政民の一騎當千の武者が聞いても、大臣はまだきまきまつてゐない。目下農林省其の他と協議中であるとは

かりで逃げ廻つて居る。

それを云ふと、俺の所は少いとか、俺

の縣へはもつと寄越せとか、議會でい

ぢめられるのが恐くて發表が出来ない

のだよ。つまり信念といふものがない

から云へないんだよ。

馬鹿なことをいへ。信念がなくて仕事

が出来るか。

信念はあるが見榮坊なんだね。

何れにしてもそうすると困るのは地方

じゃね。何故といふて、地方はあと三

月で二千萬圓の仕事させねばならんか

らね。

理に走る

土木局の連中は此の豫算の爲に五十日

餘りも續けて、毎日々々午前一時二時

や、五時頃迄も、果ては徹夜もしたと

いふではないか。尤も大臣は農林省で

經驗があるからね。

眞實に涙ぐましい努力にはお互に感謝

すると共に、全くお氣の毒だつたね。

C それでまだ配當の根本方針が決つてゐ

ないといふのは本當かね。

B ほんとに決つたらんらしい。理窟が多

くて無我夢中らしいぜ。

A 案はいくらでもあるらしいが、全く決

つたらん見えるらしいね。

C 一體誰が決めるんだい。

B 決めるのは勿論大臣さ。

C それやそーだけれど、大臣には夫々補

助機關といふものが付いてゐるではな

いか。その邊でガツチリと一應は基準

A といふものが決まらんかね。

つまり自分で決めないで、『時』に解決

して貰ふといふ段取りだらうね。

C マサカ……。しかしこうやつて見ると

田中といふ男は何といふても確かりも

んだつたね。

B そんなことが今判つたのかね。

いや、居なくなつて見ると餘計にあの

C 男の存在さがわかると云ふのさ。

秘密主義

A 今度の臨時議會は丁度府縣會の最中だ

つたから、何處でも此の豫算の成り行

きや、配當の方針が聞きたかつたらう

ね。

B 何でも内務省は秘密々々でなか〜窺

ひ知ることが出来なかつたそーな。

C それで愛憎をつかして、東北地方の或

る縣では一應配當があるものとして、

勝手に豫算を編成して『先に順應』し

たとかいふではないか。

A 『先に順應する』といふ言葉は聞いた

ことがないが、よく『野に上る』と云

ふことがあるが。要するに藏之助の來

る前に内匠頭が腹を切つて名を上げた

のと同じ意味か。

B 内匠頭が藏之助の來る前に腹を切つた

のは、藏之助が遅かつたから己むを得

ず時間に迫られて切つた迄で、眞實の

C 内心は藏之助を待つて居つたらしい。

A 君等は議論を弄ぶ積りか。

お互に、協心一致が大事じゃといふこ

とを諷刺したまでき。

B 短的に云へば「味の素」でも一人では出来ないといふことさ。

C とてもヤ、コシイが、つまり君等の云はんとする所は見物を喜ばせるといふことだらう。

A 官吏服務規律といふ奴がね。  
B 成る程ね。しかし官吏服務規律には同僚を疎外せよとあつたかな!!

他力本願

A 今度の追加豫算に對して、地方では『災害縣へ割込運動』といふものをやつたそうだが聞いたか。

B 政府が何時迄も決まらんからやつたんだらう。

C いや此の頃はなんでもかんでも救済々々といふ時世になつたんだね。

A それで三十五、六年の危機に備へられる奮張りがあるのだらうか。

B 救済に洩れると云ふことは、不名譽だと心得てゐるのではないかな!。

假面劇

C まさかと思ふが、つまり名前が何ぢやろと、要するに他の府縣で土木事業があるのに、自分の所だけがオミットされるといふことは、勢ひ縣當局として、縣民に對して不面目といふことになるからね。

A そんなことなら、政府が初めから各地へ普遍的に土木事業を起興する様な政策をとればよいではないか。

B だから地方が他力本願になるのも、歸するところは政府の政策が然らしめたとも云ひ得やうではないか。

C 困つた成り行きだね。

A 死んだ原敬さんの議會の答辯じやないが『誠に憂慮に堪へない次第であります』だね。(十二、一六)

夫れもそうか  
議會の豫算會議で兵庫縣選出の民政黨員中亥歳男君が高橋藏相にあなは公債漸減主義を賛成しなから必要な場合は公債をいくらでも發行する、また公債の消化力はあ

ると云はれたがソリヤ矛盾ぢやあないですか。

と詰め寄ると藏相は

「さう追及するのは酷ですよ」

と云つて飽をかゝへて後もふりむまかず

退場

又災害地地租減免委員會で之れも民政黨の京都府選出代議士福田關次郎君が、

「風水害罹災者に對する査定が殘酷だ」と大聲叱呼した。夜店のバナナ賣ソノまゝであつた。すると高橋老藏相はムツクとばかり立ち上り、

「福田君は大變昂奮して居る今少し冷靜に考へられた方がヨイ、ソウ喚き立てられては私しやたまらぬ」と退席した。サモあり

なん夫れも夫うぢやネ。(二二、一一)

× × × ×

× × × ×